

## 【山陰インバウンドニュース 2024年3月号】

2024年3月29日  
(一社)山陰インバウンド機構

### 3/26 「山陰インバウンド機構シンポジウム」を開催しました

3月26日(火)米子コンベンションセンター国際会議室にて、(株)美ら地球 代表取締役 山田拓氏を基調講演講師にお招きし、観光シンポジウム「人材から読み解く 未来に続く山陰の観光 - 山陰ツーリズム人材育成塾卒業生の今-」を開催しました。



第1部では、山陰インバウンド機構が2016年度から継続して実施している観光人材育成事業と、今年度3期目を迎えた「山陰ツーリズム人材育成塾」を説明。そして基調講演では、山田拓氏より、岐阜県飛騨市古川町を拠点としたサイクリングガイドツアーの事業展開や、宿泊事業、マーケティング事業の事例を元に、地域資源に値付けして外貨を獲得していくことの重要性と、そのような取組の実践には人材が必要不可欠であることをお話いただきました。



第2部のパネルディスカッションも、山田拓氏がファシリテート。山田拓氏は、当機構の2017年度、2018年度の観光人材育成事業にコーディネーター、メイン講師、伴走支援専門家として関わっており、その当時の受講者3名がパネリストとなりディスカッションが展開されました。

3名は現在観光の現場でそれぞれ活躍中ですが、学びから現在に至るまでの経緯も含め、観光人材の活躍事例が垣間見られたものと思います。一方、地域としての波及効果を考える上では、活躍する人材の不足、事業受け皿の少なさなどの課題も示され、事業者同士の連携も必要不可欠であることが改めて確認されました。パネルディスカッションには、今年度の山陰ツーリズム人材育成塾の塾生代表も1人加わり、今後の自分自身の展望にも照らし合わせながら、意見発表されました。



当日の聴講参加者数は 95 名で、観光事業者様、その他民間事業者様、自治体職員様、観光振興等団体職員様、支援団体職員様、大学関係者様等、幅広くご参加いただきました。

聴講参加者様には、非常に興味深くお聞きいただき、山陰の未来へのご自身の関与や、観光人材の必要性等を考える良いきっかけになったのではと考えております。



当機構は、令和 6 年度も山陰ツーリズム人材育成塾を開催しますので、是非とも沢山の方々にご応募いただきたいと思っております。（希望者多数の場合は、受講者の選考がございますことご容赦ください。）

尚、本シンポジウムの動画を後日 YouTube にアップする予定です。動画公開の準備が整いましたら別途当機構 WEB サイトでお知らせいたしますので、是非ご覧ください。

### 3/6 に「ベトナム・デスティネーションセミナー」が開催されました

5 月に予定するベトナム＝出雲間のチャーター便の運航に向け、地元側でのベトナムの認知度向上と機運醸成を目的に、3 月 6 日に「ベトナム・デスティネーションセミナー」が開催されました。

当日はベトナム航空や日本政府観光局 (JNTO) ハノイ事務所の担当者から、現地の様子や旅行動態を中心に紹介されたほか、ツアーを企画する一畑トラベル・エムエスツーリストの担当者からは現地の見どころや今回のツアー概要を説明。100 名を超える参加者 (現地 81 名、オンライン 35 名の合計 116 名) からは活発に質問も寄せられる等、12 年ぶりとなるベトナムへのチャーター便に期待が高まっている様子が感じられました。

最後に、島根県からは定期便化に向け、観光やビジネス等幅広く需要を創出していく重要性や今後の取組みについて説明されました。出雲空港への更なるチャーター便や定期便の就航が実現し、ベトナムからも多くの方々に山陰地域へお越しいただけるよう、当機構も引続き地域の関係者と協力し取り組んでまいります。



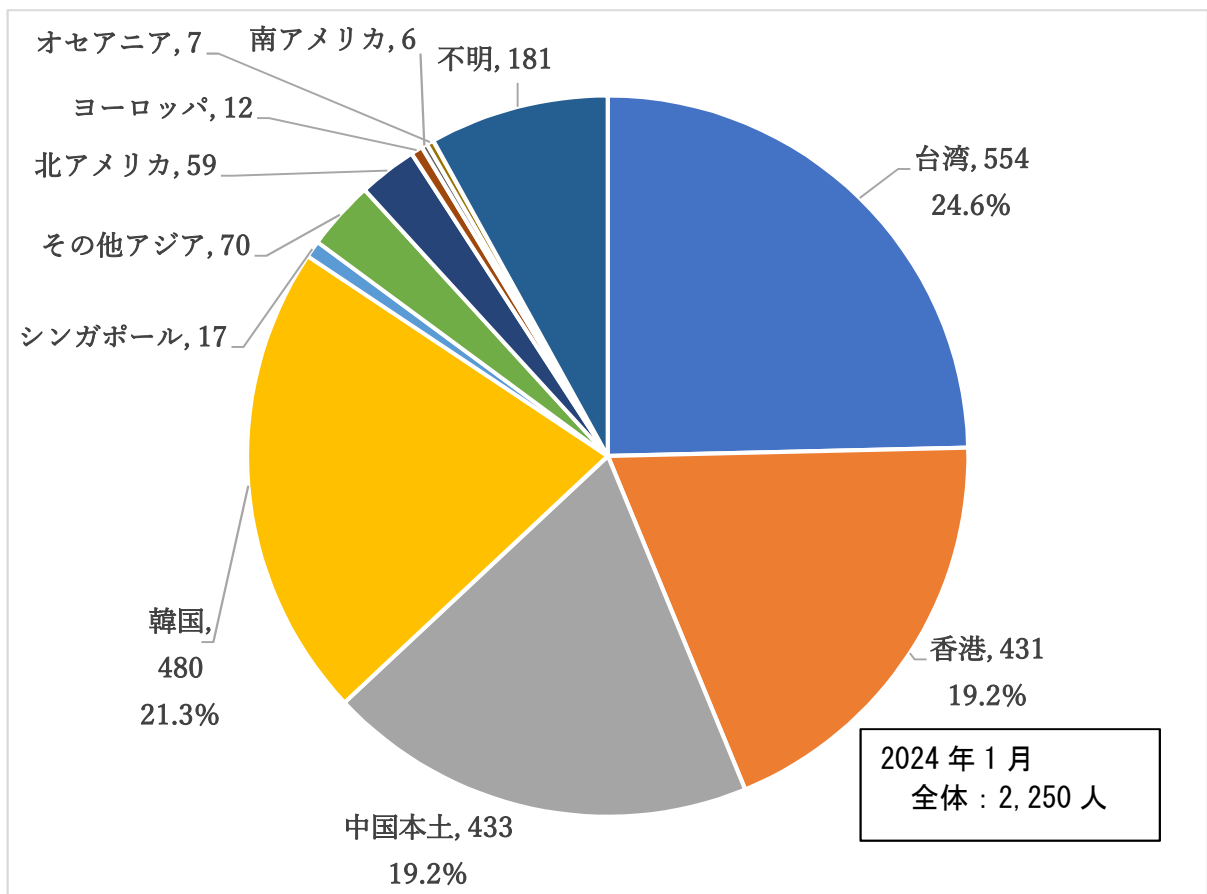
## 参考：山陰・観光案内所等への外国人訪問者数

当機構では山陰両県の観光案内所・観光協会様等のご協力をいただき、毎月各案内所等へ訪問した外国人観光客数やその国籍について集計を行っています。

山陰両県全体の外国人観光客の様子としてお知らせしますので、参考にご覧ください。

※各案内所等により細かな計測手法等には違いがあるため、あくまでも参考にご覧ください。

※今後掲載しない場合もありますので、ご了承ください。



## 観光関連統計等

山陰への訪日外国人延べ宿泊者数〔観光庁宿泊旅行統計調査（従業員10人未満の施設を含む）〕

| 期間                             | 山陰への訪日外国人宿泊者数（鳥取/島根）   | 比較   |
|--------------------------------|--|--|
| 2023年12月                       | 13,000人泊（対2019年比65.2%）<br>（鳥取7,850人/島根5,150人）  | （2022年12月）3,430人泊※<br>（2021年12月）1,190人泊※<br>=====<br>（2019年11月） <b>19,930</b> 人泊※          |
| 【参考】日本全体の現状（2023年12月）<br>（速報値） | 12,302,500人泊（対2019年比133.9%）<br>※観光庁宿泊旅行統計調査<br><a href="https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html">https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html</a> | （2022年12月）5,877,300人泊※<br>（2021年12月）330,070人泊※<br>=====<br>（2019年12月） <b>9,182,820</b> 人泊※ |

※確定値

